

西蒲区区ビジョン まちづくり計画（案） （2023－2030）

おことわり

○本冊子に掲載している図や写真は、案の内容について理解を深めていただけるよう、イメージをつかんでいただくための参考画像として掲載しているものです。

目次

<u>はじめに</u> ・・・・・・・・・・・・・・・・	1
<u>計画の構成</u> ・・・・・・・・・・・・・・・・	1
<u>各区のすがた</u> ・・・・・・・・・・・・・・・・	3
<u>西蒲区区ビジョン基本方針（抜粋）</u> ・・・・・・・・	5
<u>第1章 西蒲区の概要</u> ・・・・・・・・	7
（1）地勢	
（2）歴史	
（3）自然・景観	
（4）人口	
（5）土地の利用状況	
（6）産業	
（7）交通	
<u>第2章 西蒲区区ビジョンまちづくり計画体系図</u> ・・・・	13
<u>第3章 西蒲区の現状、特性と課題／まちづくりの方針</u> ・	14
（1）魅力あふれる農水産物を供給するまち	
（2）観光とスポーツ・レクリエーションのまち	
（3）歴史と文化が生き続けるまち	
（4）人が行き交い、にぎわいと活力があふれるまち	
（5）人の和でつながる安心・安全なあたたかいまち	
<u>巻末資料（用語集）</u> ・・・・・・・・	50

はじめに

西蒲区区ビジョンまちづくり計画は、新潟市総合計画の一部である区ビジョン基本方針の実現に向けた取組と、実施計画に相当する具体的な取組を示したものです。

計画期間は、令和5年度から令和12年度までの8年間です。

実施計画は、取組の実施状況や社会・経済状況の変化などに対応するため、2年ごとに策定し進捗管理を行います。

計画の構成

新潟市総合計画とは

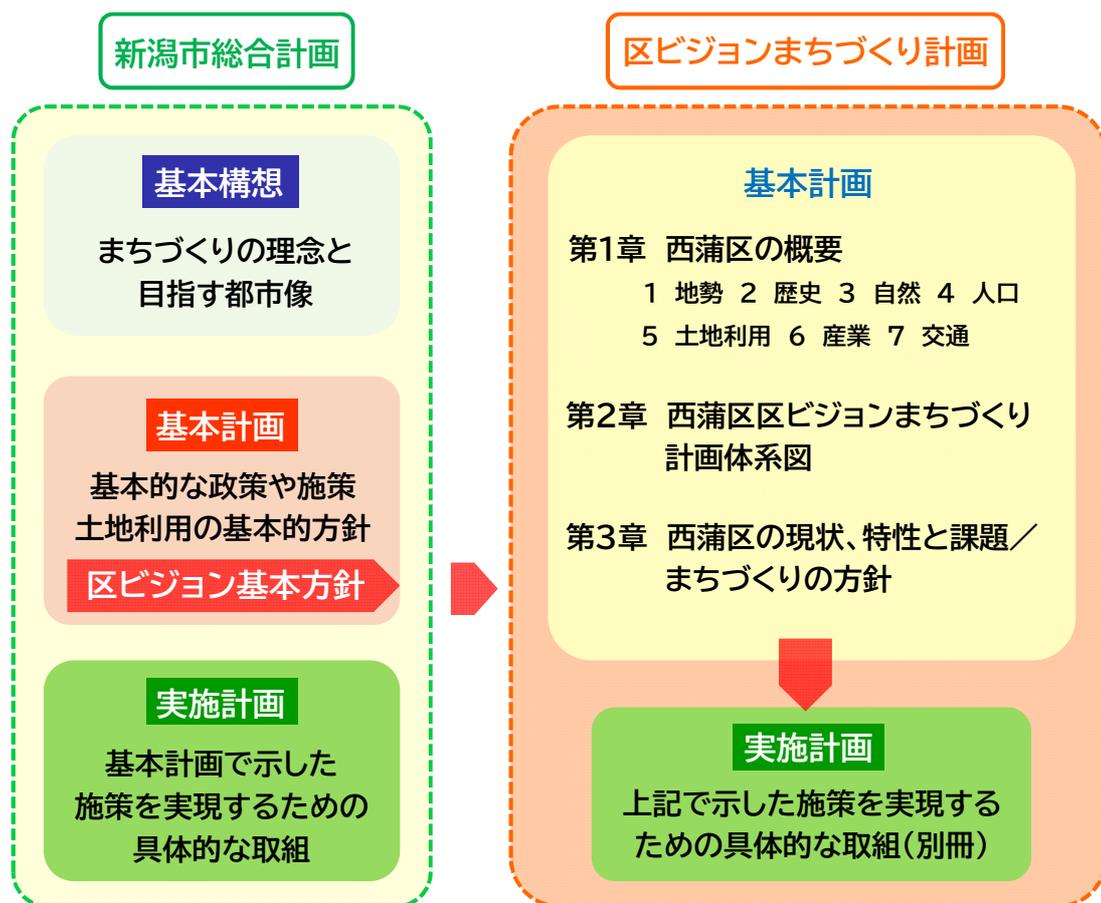
- 新潟市が目指すまちづくりのあり方を示すもので、「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成されています。区ビジョンまちづくり計画の上位計画です。
- 「基本構想」「基本計画」は、令和5年度から8年後の令和12年度までを計画期間とし、新潟市の目指すまちづくりの方針と、その実現に向けた政策と施策について記載するものです。また、施策の実現に向けた具体的な取組を掲載する「実施計画」は、計画の中間である令和8年度に必要な見直しを行う予定です。

区ビジョン基本方針とは

- 西蒲区の将来像や目指す方向性などを示すものです。
- 新潟市総合計画の「基本計画」の一部として策定されます。
- 西蒲区自治協議会で検討・審議し、新潟市議会の議決を経て策定しました。

区ビジョンまちづくり計画とは

- 「基本計画」と「実施計画」で構成され、うち「基本計画」は、区ビジョン基本方針を踏まえ、より具体的な取組の方向性を示すものです。
- 計画期間は、令和5年度から令和12年度までの8年間です。構成は、「第1章 西蒲区の概要」「第2章 西蒲区区ビジョンまちづくり計画体系図」「第3章 西蒲区の現状、特性と課題／まちづくりの方針」となっています。
- 「実施計画(別冊)」は、2年ごとに策定し、進捗管理を行っていきます。



SDGs(持続可能な開発目標)とは

- 2015年9月開催の「国連持続可能な開発サミット」で採択された、よりよい未来を目指すための2030年までの世界共通の目標「Sustainable Development Goals」の略称です。
- 新潟市総合計画の基本構想に掲げた「持続可能なまちづくり」という方向性は、まさにSDGsにおける持続可能な開発(将来世代のニーズに応える能力を損ねることなく、現代の世代のニーズを満たす開発)の考え方と一致しています。
- 新潟市総合計画においても「経済」「社会」「環境」の3側面の調和など、SDGsの基本的な考え方を意識して、それぞれの政策・施策を推進することとしています。
- 全ての政策分野及び行財政運営において、市民・民間事業者・国・県・周辺市町村など多様な主体とのパートナーシップを活かした施策推進を重視していきます。



各区のすがた

項目		新潟市全体	北区	東区	中央区	
人口	総数	令和2年人口(人)	789,275	72,804	134,446	180,345
		令和27年推計人口(人)	631,510	55,285	100,674	160,995
	15歳未満	令和2年人口(人) 割合(%)	91,224(11.6)	8,195(11.3)	15,867(11.8)	19,599(10.9)
		令和27年推計人口(人) 割合(%)	60,835(9.6)	5,692(10.3)	9,988(9.9)	16,084(10.0)
	15～64歳	令和2年人口(人) 割合(%)	463,605(58.7)	41,301(56.7)	79,308(59.0)	112,981(62.6)
		令和27年推計人口(人) 割合(%)	317,625(50.3)	28,700(51.9)	52,253(51.9)	87,623(54.4)
	65歳以上	令和2年人口(人) 割合(%)	234,446(29.7)	23,308(32.0)	39,271(29.2)	47,765(26.5)
		令和27年推計人口(人) 割合(%)	253,050(40.1)	20,893(37.8)	38,433(38.2)	57,288(35.6)
		令和2年単身高齢者数(人)	35,041	2,644	6,643	10,409
		65歳以上に占める単身高齢者数の割合(%)	14.9	11.3	16.9	21.8
	人口動態	年間増減(人)	-5,024	-779	-1,129	-552
		うち自然動態(人)	-4,310	-509	-632	-737
うち社会動態(人)		-714	-270	-497	185	
世帯	世帯数(世帯)	331,272	27,418	57,491	90,860	
	1世帯当たりの人員(人)	2.4	2.7	2.3	2.0	
	核家族の割合(%)	53.6	56.6	56.3	45.2	
	単独世帯の割合(%)	35.1	27.5	33.8	48.6	
	3世代世帯の割合(%)	7.1	10.5	5.9	3.0	
面積	面積(km ²)	726.28	107.61	38.63	37.75	

農業	農家戸数(戸)	9,675	1,414	282	174
	基幹的農業従事者数(人)	10,379	1,465	303	197
	うち65歳以上の割合(%)	67.8	68.6	62.7	59.4
	経営耕地面積(ha)	25,653	3,897	699	393
工業	事業所数(所)	949	156	176	100
	従業者数(人)	37,478	6,945	8,725	1,656
	製造品出荷額等(億円)	11,469	3,405	2,962	244
商業	事業所数(所)	7,985	542	1,138	2,831
	従業者数(人)	68,805	4,292	11,339	23,382
	年間商品販売額(億円)	32,319	1,408	5,265	13,394

(出典)

人口:国勢調査(R2)、推計値(新潟市全体)は国勢調査(R2)および人口動態統計特殊報告(H25～H29)から算出した新潟市独自推計値

推計値(各区)は新潟市全体の推計人口を、新潟市独自推計である「各区将来推計人口(H30)」の男女別5歳階級別の構成比から算出したもの

人口動態:新潟県人口移動調査(R3)

世帯:国勢調査(R2)

江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	項目		
67,972	75,069	43,437	160,656	54,546	令和2年人口(人)	総数	人口
51,875	55,965	30,282	140,380	36,054	令和27年推計人口(人)		
8,722(12.8)	9,080(12.1)	4,926(11.3)	19,178(11.9)	5,657(10.4)	令和2年人口(人) 割合(%)	15歳未満	
4,521(8.7)	5,548(9.9)	2,594(8.6)	15,115(10.8)	2,898(8.0)	令和27年推計人口(人) 割合(%)		
38,653(56.9)	41,904(55.8)	24,761(57.0)	94,898(59.1)	29,799(54.6)	令和2年人口(人) 割合(%)	15～64歳	
25,469(49.1)	28,772(51.4)	13,879(45.8)	77,888(55.5)	16,035(44.5)	令和27年推計人口(人) 割合(%)		
20,597(30.3)	24,085(32.1)	13,750(31.7)	46,580(29.0)	19,090(35.0)	令和2年人口(人) 割合(%)	65歳以上	
21,885(42.2)	21,645(38.7)	13,809(45.6)	47,377(33.7)	17,121(47.5)	令和27年推計人口(人) 割合(%)		
2,431	2,987	1,255	6,735	1,937	令和2年単身高齢者数(人)	65歳以上	
11.8	12.4	9.1	14.5	10.1	65歳以上に占める単身高齢者数の割合(%)		
-131	-547	-562	-604	-720	年間増減(人)	人口動態	
-319	-500	-373	-722	-518	うち自然動態(人)		
188	-47	-189	118	-202	うち社会動態(人)		
24,891	28,003	14,922	69,006	18,681	世帯数(世帯)	世帯	
2.7	2.7	2.9	2.3	2.9	1世帯あたりの人員(人)		
61.9	60.1	56.9	53.8	56.5	核家族の割合(%)		
23.5	24.1	21.4	36.7	20.7	単独世帯の割合(%)		
9.6	10.2	14.9	5.6	16.0	3世代世帯の割合(%)		
75.42	95.38	100.91	94.00	176.57	面積(km ²)	面積	

1,319	1,192	1,828	1,170	2,296	農家戸数(戸)	農業
1,403	1,129	2,261	1,504	2,117	基幹的農業従事者数(人)	
70.2	70.9	64.4	61.0	74.1	うち65歳以上の割合(%)	
2,824	3,052	4,686	3,517	6,585	経営耕地面積(ha)	
111	76	124	68	138	事業所数(所)	工業
6,058	2,400	5,803	1,487	4,404	従業者数(人)	
1,405	567	1,692	339	854	製造品出荷額等(億円)	
743	604	442	1,154	531	事業所数(所)	商業
6,576	4,606	2,925	12,519	3,166	従業者数(人)	
2,860	1,068	818	6,826	680	年間商品販売額(億円)	

面積:全国都道府県市区町村別面積調(R4.1)

農・工・商業:2020農林業センサス、工業統計調査(R2)、経済センサス(H28)

(※1)推計値(新潟市全体)と推計値(各区)は、基準としているデータが異なるため、
区別、年齢別の区別人口の合計値は新潟市全体の年齢別人口と一致しない

西蒲区 区ビジョン基本方針(抜粋)

区の将来像

豊かな自然、歴史と文化のかおりに満ちあふれ、
人と人とがたたかきつなげるまち

越王おけさ柿



いちじく「越の雫」



ウォーキングスポットである
上堰潟公園



目指す区のすがた

魅力あふれる農水産物を供給するまち

- 「田園の恵みを感じながら心豊かに暮らせる日本海拠点都市」にふさわしい広大な優良農地や、2つの漁港を備える立地を活かし、高品質で多様な「西蒲ブランド」の農水産物の供給拠点となるまちを目指します。
- 生産者と消費者の交流を深める農業体験や、生産から加工・販売まで手がける6次産業化の推進により農業・水産業の魅力を伝えるとともに、力強い農業生産基盤などを整備・保全することで、将来の担い手が育つまちを目指します。

観光とスポーツ・レクリエーションのまち

- 越後七浦海岸、角田山、多宝山、上堰潟などの豊かな自然環境や北国街道をはじめとした歴史文化などの観光資源と岩室温泉をエリア全体で結び、地域一体となって多様な楽しみ方ができる観光拠点となるまちを目指します。
- 自然環境や観光資源を活かし、スポーツ・レクリエーションの普及・推進を図ることで、誰もが楽しく暮らすことのできるまちを目指します。

歴史と文化が生き続けるまち

- 遺跡や北国街道など、数多く残る歴史文化資源の保全と語り部の育成をしながら、いにしえからこの地に連綿と続く人々の営みと歩みを伝え続けます。
- 文化施設を拠点として、地域の文化活動やまつり開催を支援しながら、古くから伝わる郷土玩具の「鯛車」や「のぞきからくり」、「越後にしかわ傘ぼこ」など西蒲区の誇る文化を内外に積極的に発信するとともに、次代に継承するための人材育成に取り組み、後世まで伝え続けます。

人が行き交い、にぎわいと活力があふれるまち

- 地域の実情に合った公共交通体系を深化させ、誰もが移動しやすく安全な交通環境を整えることで地域の交流促進を図り、人が行き交う賑わいのあるまちを目指します。
- 高速交通アクセスに恵まれた立地条件を活かした製造・物流業の活性化や、商工業のさらなる振興により雇用創出を図ることで、活力あふれるまちを目指します。
- 交流人口の拡大や関係人口づくりを進め、地域内外の行き来を活性化させるとともに、定住人口の確保を図ることで、持続可能なまちを目指します。

人の和でつながる安心・安全なあたたかいまち

- 地域ぐるみで支え合う人の和を育み、誰もが笑顔で暮らし続けられるように、安心・安全で快適な生活基盤をつくり、あたたかみあふれるまちを目指します。
- 地域の誰もが次代を担う子どもたちの成長を支え、学び合いを通じて人と人とのつながりが生まれ、広がるまちを目指します。
- 健康づくりに対する意識啓発により健康寿命の延伸を図るとともに、子どもから高齢者、障がい者まで、誰もが地域の中でいきいきと暮らすことのできるまちを目指します。
- 地域課題の解決に向け、区自治協議会や地域コミュニティ協議会、自治会など、住民自治を担うあらゆる主体が連携を深め、一人一人に寄り添う、区民が主役のまちを目指します。

郷土玩具「鯛車」



伝統ある「越後にしかわ傘ぼこ」



西蒲区 区バス



地域課題の解決を目指す
区自治協議会



第1章 西蒲区の概要

(1) 地勢

西蒲区は、新潟市の南西部に位置し、区の面積は176.57km²に及び、市内8区の中で最も広く、全市の約4分の1を占めています。

地形は変化に富み、市内で唯一、海・山・平野を併せ持っています。

周囲とのつながりは、西は日本海に臨む約15kmの海岸線となっており、北は西区、東は南区、南は長岡市、燕市、弥彦村と隣接しています。

区内は、地域コミュニティ協議会の単位で9つの地区(岩室・西川・潟東・中之口・巻・漆山・峰岡・松野尾・角田)から構成されています。



(2) 歴史

平成19(2007)年4月1日、新潟市が政令指定都市に移行し、市内の8つの区の1つとして、旧岩室村・旧西川町・旧潟東村・旧中之口村・旧巻町で構成される西蒲区が誕生しました。

区内の各地区から300を超える遺跡が発見されており、いにしえから人々の営みがあったことを示しています。

岩室地区の歴史

旧岩室村の大部分は中世の荘園時代、弥彦の荘に属し、弥彦神社の社領であったのではないかと考えられています。

江戸中期以降は、三根山藩、桑名藩、直轄領、与板藩に分属していました。

現在の町村自治体の基盤ができた明治22(1889)年、石瀬村・岩室村・船越村・間瀬村・和納村・鴻ノ巣村の6か村が誕生しました。

その後6か村の合併が進み、昭和35(1960)年、新潟市と合併する前の旧岩室村の姿になりました。

西川地区の歴史

旧西川町の曾根村は荘園・弥彦荘に属していたと考えられ、その後、元和4(1618)年からは長岡藩の領地となり蒲原組に属していました。

元和6(1620)年には曾根組が設置され代官所が置かれました。

曾根代官所は、長岡藩の穀倉地帯の要として近隣の行政・司法・徴税を司るため、現在の曾根小学校敷地に約250年間設置されていました。

明治22(1889)年、全国的な市制・町村制施行と同時に、鎧郷村・西川村・曾根村・升潟村の4か村が誕生しました。

その後4か村の合併が進み、昭和36(1961)年、新潟市と合併する前の旧西川町の姿になりました。

潟東地区の歴史

旧潟東村は、中世には荘園・弥彦荘に属し、その後上杉氏の所領であったと伝えられています。

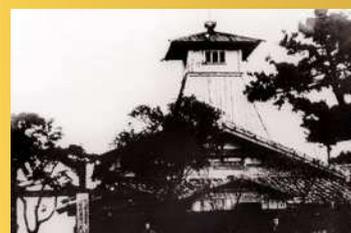
江戸時代は村上藩・長岡藩・幕府領が入り混じって統治していましたが、明治22(1889)年の町村制施行により、井随村・島方村・横戸村・五之上村・共和村・潟前村の6か村が誕生しました。

その後6か村の合併が進み、昭和30(1955)年、新潟市と合併する前の旧潟東村の姿になりました。

天神山城址



旧曾根代官所



鎧潟干拓記念碑



澤将監の館



旧庄屋佐藤家



中之口地区の歴史

旧中之口村では、武田信玄の家臣の澤将監(さわしょうげん)がこの地に定着し、打越地区の新田開発を行いました。

江戸時代になると、幕藩体制の中に組み込まれ、三条藩・村上藩・高崎藩・直轄領・新発田藩と次々と領地替えが行われました。

明治22(1889)年の町村制施行により、小吉村・三針村・道上村・打越村・加奈居村の5か村が誕生しました。

その後5か村の合併が進み、昭和29(1954)年、新潟市と合併する前の旧中之口村の姿になりました。

巻・漆山・峰岡・松野尾・角田地区の歴史

旧巻町の中心地は、江戸時代、長岡藩巻組の中心地として代官所が置かれ、近傍の村々を統治していました。

また角田山麓の三根山(現峰岡)周辺の村々は、牧野家三根山領となり、幕末には三根山藩領として統治され明治を迎えました。

明治12(1879)年、郡区町村編成法により西蒲原郡巻村となり郡役所が置かれました。

明治22(1889)年の町村制施行により、越前浜村・角田浜村・巻村・福木岡村・竹野町村・仁ヶ村・稲島村・松野尾村・五ヶ浜村・角海浜村・漆山村・潟南村・馬掘村・佐渡山村の14か村に再編されました。

その後14か村の合併が進み、昭和35(1960)年、新潟市と合併する前の旧巻町の姿になりました。

※旧巻町の四ツ郷屋地区は、政令市移行時、西区に編入されました。

(3) 自然・景観

西蒲区は、豊かな自然環境と観光資源に恵まれ、日本海に臨む風光明媚な越後七浦海岸と角田山や多宝山などの一帯は、「佐渡弥彦米山国定公園」に指定され、多くの景勝地が存在します。

角田山と多宝山では、春を迎えると貴重な雪割草やカタクリなどの群生が花を咲かせ、山野草の宝庫として県内外から多くの観光客が訪れます。

平野部は、信濃川の支川である西川や中ノ口川などに育まれた広大な水田地帯が広がり、刈り取った稲をかけて天日乾燥させるために使われた「はざ木」の並木がところどころに残る米どころ新潟の景観は、美しい日本の原風景を思い起こさせます。

カタクリ



はざ木



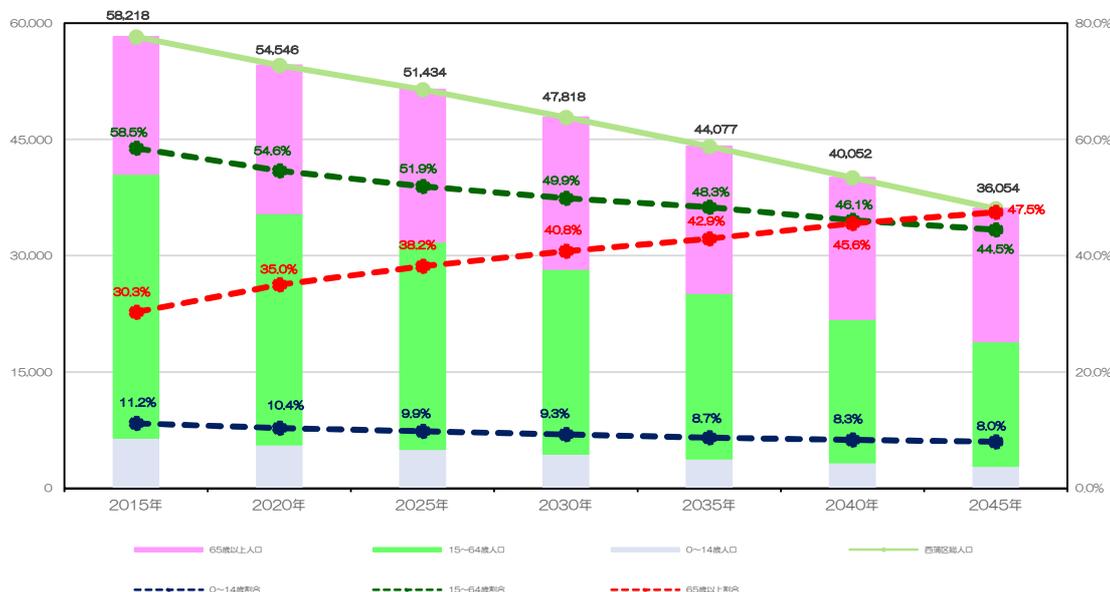
(4) 人口

西蒲区の人口は54,546人で、8区で2番目に少なく、令和27(2045)年には36,054人に減少すると推計されています。

65歳以上の高齢者人口の割合は35.0%で、8区で最も高く、令和27(2045)年には47.5%に増加すると推計されています。

15歳から64歳までの人口の割合は54.6%で、8区で最も低く、令和27(2045)年には44.5%に減少すると推計されています。

西蒲区の将来人口推移

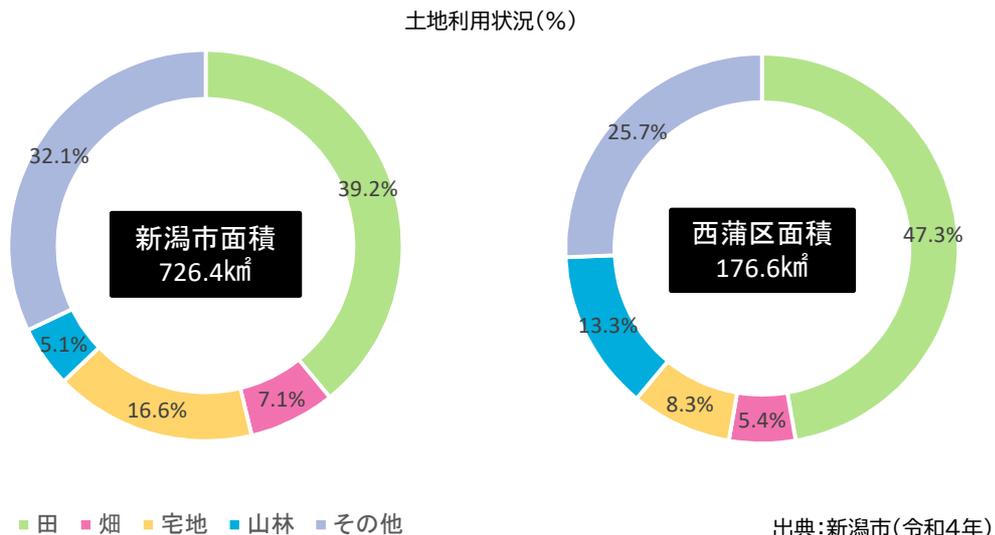


出典：国勢調査(総務省：2015～2020)、新潟市独自推計(2025～2045)

(5) 土地利用の状況

西蒲区の土地利用は、47.3%が田、5.4%が畑です。区全体の半分以上を占める面積が農地として利用されており、他のどの区よりも広大な農地を有しています。

また、山林が13.3%を占め、その面積は新潟市で最大となっています。



(6) 産業

8区の中でも農家戸数が一番多く、経営耕地面積も最大です。

広大な農地では、稲作を中心に、柿・いちじくをはじめとする果樹や、すいか・ねぎなど多様な園芸作物の生産が盛んです。

また、農家レストランや農産物・ワインなどの直売所をはじめとした6次産業化の取組により、周辺観光産業との相乗効果が生まれ、賑わいをもたらしています。

さらに、交通アクセスに恵まれた製造・物流拠点である漆山企業団地のほか、11の工業団地を有しており、特色のある企業が事業を展開しています。

恵まれた自然環境や歴史文化資源を活かした観光も重要な産業であり、なかでも北国街道の湯治場で、開湯から300年を超える歴史のある岩室温泉は、本市唯一の温泉街として県内外から多くの観光客が訪れています。

国家戦略特区の規制緩和を活用した農家レストラン



岩室温泉

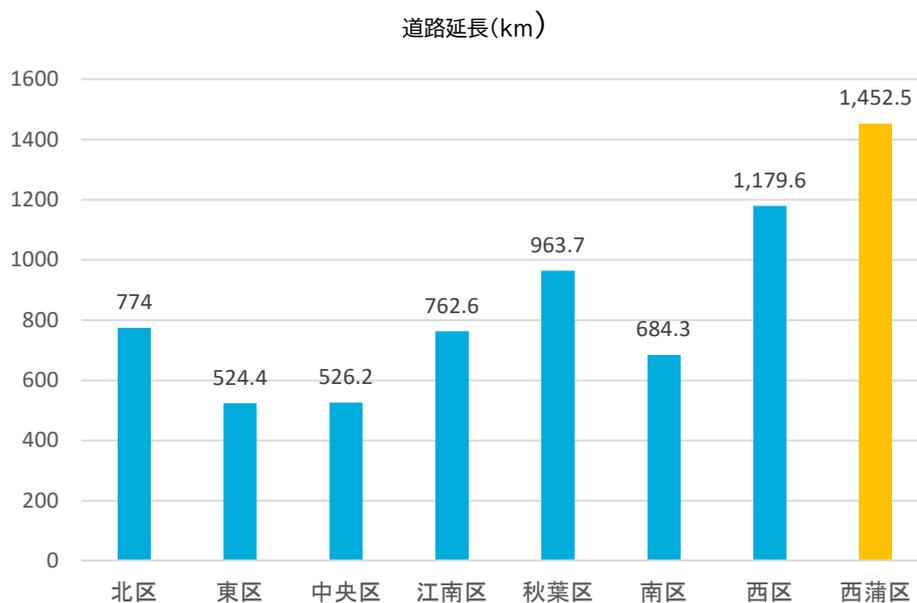


(7) 交通

主要な道路は、区の中央部に地域の社会・経済活動を支える国道116号が、海岸線には奇岩織り成す景勝が楽しめる越後七浦シーサイドライン(国道402号)がそれぞれ南北方向に通リ、それらを結ぶ国道460号が東西方向に通っています。

区外とつながる幹線交通は、区の中央部を南北に縦断するJR越後線と、東部を縦断し多数の高速乗合バスが走る北陸自動車道があり、交通結節点として巻駅・越後曾根駅・岩室駅の3駅と、大規模駐車場を備える巻潟東インターチェンジが重要な役割を果たしています。

また、区内の移動を担う交通として、各交通結節点に接続する路線バスが運行されています。



出典:新潟市(平成30年4月1日時点)

第2章 西蒲区区ビジョンまちづくり計画 体系図



第3章 西蒲区の現状、特性と課題 ／まちづくりの方針

目指す区のすがた(1)



魅力あふれる農水産物を供給するまち

○「田園の恵みを感じながら心豊かに暮らせる日本海拠点都市」にふさわしい広大な優良農地や、2つの漁港を備える立地を活かし、高品質で多様な「西蒲ブランド」の農水産物の供給拠点となるまちを目指します。

○生産者と消費者の交流を深める農業体験や、生産から加工・販売まで手がける6次産業化の推進により農業・水産物の魅力を伝えるとともに、力強い農業生産基盤などを整備・保全することで、将来の担い手が育つまちを目指します。

①ブランド力向上と交流促進

－ 現状・課題・特性 －

生産環境と消費者ニーズの変化

- 近年は、生産物の価格低迷や、消費者ニーズの多様化、気候変動、世界情勢、感染症の広がりなどにより、生産者にとって新たな対応を迫られる状況が続いています。
- 水稲を取り巻く生産環境は、主食用米の消費減少、米価の下落、産地間競争が激化するなど厳しい状況にあります。
- 多様な米づくりを推進するとともに、高収益作物の導入や農水産物の高付加価値化を促進し、消費者ニーズに対応した安心・安全な農水産物を供給する必要があります。
- 新潟市食と花の銘産品に指定されている「越王おけさ柿」やいちじく「越の栗」などの更なる消費拡大を図るとともに、※「にしかん なないる野菜」など特徴のある農水産物のブランド化に取り組む必要があります。

※「にしかん なないる野菜」とは

西蒲区で生産された「色や大きさ、形などに特徴のある珍しい野菜」で、「なないる」には色とりどり、多種多様という意味を込めました。



地域資源の交流促進

- 販路の拡大や地域の活性化を図るため、農家レストランや直売所を活用し、生産者と消費者との交流を促進する必要があります。
- 様々な情報手段を活用した発信と、マルシェなどの販売促進イベントを通じた広域的な交流を進める必要があります。

にいがた2km食花マルシェでの「にしかん なないる野菜」のブース



方針1 売れるものづくり

- 関係機関と連携し、高収益作物の導入や農水産物の付加価値向上に努め、生産者の所得向上を図っていきます。
- 関係機関と連携し、「越王おけさ柿」やいちじく「越の雫」などに代表される西蒲区のブランド力向上を図り、売れる農水産物づくりを進めます。

施策の方向性

- 需要に応じた多様な米づくりの推進
- 高収益作物の導入促進や農水産物の付加価値向上を推進
- 農水産物のブランド化への支援

「越王おけさ柿」の収穫の様子



方針2 農業・水産業を通じた交流促進

- 西蒲区の最大の魅力である自然環境や田園風景を活かし、農水産業を通じた交流人口の拡大を図るとともに、販売促進イベントを積極的に利用し、広域的な販路開拓に努めます。

施策の方向性

- 西蒲区が誇る食・酒・農などを活用したガストロノミーツーリズムの推進
- 販売促進イベントを積極的に利用した広域的な交流促進、販路開拓

なないろ野菜販売促進イベントの様子



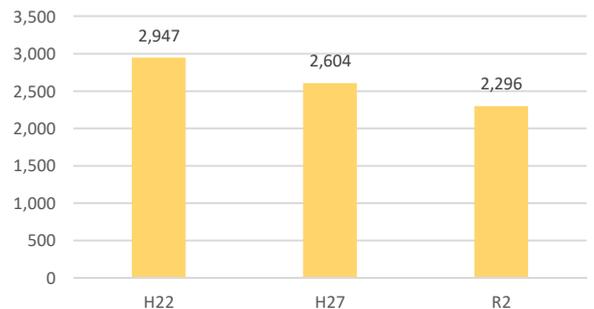
②担い手の強化・育成

－ 現状・課題・特性 －

担い手の高齢化と後継者不足

- 農林水産業において、担い手の高齢化や後継者不足が課題となっています。
- 認定新規就農者・認定農業者の育成支援や農地所有適格法人の設立支援など将来の担い手確保に向けた取組を進め、持続可能な農業を実現する必要があります。

西蒲区農家戸数の推移



出典：農林業センサス(農林水産省)

遊休農地・違反転用地への対応

- 経営主の高齢化や離農、後継者不足などにより遊休農地(耕作放棄地)や違反転用地の増加が懸念されます。
- 担い手への農地の集積や遊休農地及び違反転用地の解消など、農地利用の最適化に向けた取組を進めていく必要があります。

農地パトロールの様子



農林水産業の基盤整備

- 農業の重要な生産基盤である農地の確保と保全活動に努め、農地の豊かさを守るとともに、ほ場整備の推進により農業生産性の向上に加え、ほ場整備を契機とした担い手への農地集積、集約化を推進する必要があります。
- 水産業の振興のため、漁港などの施設を維持・整備していく必要があります。

圃場整備の様子



方針1 意欲的な取組への支援

- スマート農業などの新たな技術の導入で、生産性向上に意欲的に取り組む生産者への支援に努めます。
- 個人経営の法人化や、生産法人の拡大、後継者人材の確保・定着など関係機関と支援に努めます。

自動走行トラクター



施策の方向性

- スマート農業など新技術の導入や環境保全型農業の推進
- 関係機関と連携した生産組織の集約、後継者人材の確保、就業環境などの整備支援
- 関係機関と連携したほ場整備の促進

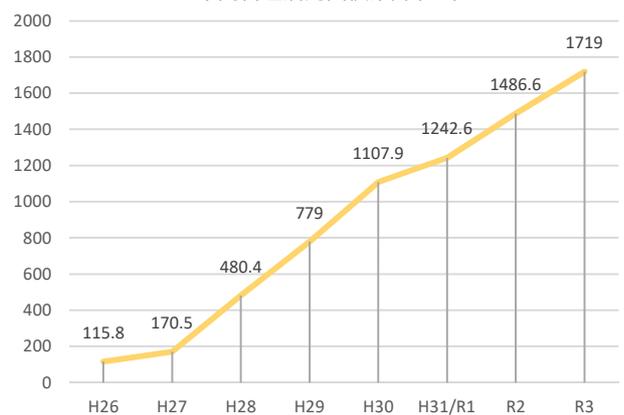
方針2 農地利用の最適化の推進

- 農業の基盤となる優良農地を守るため、遊休農地(耕作放棄地)や違反転用地の解消に取り組むとともに、農地中間管理機構を活用した担い手への農地利用の集積集約など、農地利用の最適化の推進に努めます。

施策の方向性

- 農地パトロールや遊休農地に対する監視活動などの取組の推進
- 農地中間管理機構との連携や地域の取組の推進

中間管理活用面積累計(ha)



出典:新潟市

方針3 農林水産業の基盤整備

- 経営の効率化・安定化及び所得向上を図るため、農業の基盤整備を進めるとともに技術革新を支援します。
- 砂丘地において、飛砂・塩害を防止する海岸保安林など、森林資源の保全に努めます。
- 水産物の安定供給を図るため、国や県と連携し、水産物の集出荷の拠点である漁港の維持・整備を推進していきます。

施策の方向性

- 県や関係機関との連携によるほ場整備や漁港維持・整備の推進
- 海岸保安林の保全

圃場整備された田園風景



巻漁港



観光とスポーツ・レクリエーションのまち

○越後七浦海岸、角田山、多宝山、上堰潟などの豊かな自然環境や北国街道をはじめとした歴史文化などの観光資源と岩室温泉をエリア全体で結び、地域一体となって多様な楽しみ方ができる観光拠点となるまちを目指します。

○自然環境や観光資源を活かし、スポーツ・レクリエーションの普及・推進を図ることで、誰もが楽しく暮らすことのできるまちを目指します。

①観光資源の保全と活用

— 現状・課題・特性 —

恵まれた自然環境と観光資源

- 西蒲区は、国定公園に指定されている4つの海水浴場を有する越後七浦海岸、海拔0mから登れるコースもある角田山や、多宝山をはじめ、広大な越後平野など、豊かな自然に恵まれています。
- 区には「はざ木」並木が保存されている地域があり、日本の原風景を思い起こさせる美しい田園風景が形成されています。
- 市内で唯一の温泉街である岩室温泉、四季折々の景観を楽しめる上堰潟公園、豊かな農水産物や食文化などの観光資源にあふれています。
- 今後、恵まれた観光資源を保全・整備するとともに観光コンテンツにさらに磨きをかけ、県内外にPRし、知名度を高めていく必要があります。

海上から見た角田山



はざ木



にしかん映画



観光ニーズの変化

- 価値観やライフスタイルが多様化していくなかで、個人や少人数のグループによる「参加・体験・滞在型」の観光が注目されています。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大により、大きく落ち込んだ観光需要を回復させる必要があります。
- 時代の流れとともに変化していく観光ニーズに対応し、観光需要を拡大することが必要です。
- 農業・水産業・歴史・食などと連携した西蒲区ならではの観光体験プログラム・メニューの整備や、地域とともにその時代に合った観光スタイルを提案していくことが求められています。

いわむろやでの笹団子体験メニュー



おもてなし態勢の充実

- 観光客が安心して快適に移動できるよう新潟駅や新潟空港などの拠点から西蒲区をつなぐ交通の利便性向上を図る必要があります。
- 弥彦村など周辺市町村との連携を強化し、官民一体となった広域的な魅力の発信や誘客の促進を図る必要があります。
- 観光案内施設である「いわむろや」の拠点性の向上を図るとともに、民間事業者が取り組む体験型観光を支援するなど、おもてなし態勢の強化を図ります。

新潟市岩室観光施設いわむろや



はぎ木と水田



方針1 魅力の拡大・発信

- 西蒲区の恵まれた自然環境や歴史文化などの観光資源と岩室温泉をエリア全体で結び地域一体となって多様な楽しみ方ができる観光拠点づくりを進め、その魅力にさらなる磨きをかけてキラコンテンツの有効活用を図ります。
- 周辺観光地とも連携を図りながら内外に広くPRしていきます。

施策の方向性

- 県内外での観光プロモーションやエージェントセールスの実施
- 近隣の市町村及び関係団体などと連携した広域的な情報発信
- 多様なニーズに応じた有効な情報発信
- 観光資源の一層の磨き上げ

「わらアートまつり」での作品展示



方針2 新たな観光ニーズへの対応

- 価値観やライフスタイルが多様化していくなか、観光客のニーズの変化に対応するため関係団体と連携しながら観光プログラムやおもてなし態勢の充実を図り、観光誘客に取り組みます。

施策の方向性

- 関係団体などと連携した観光プログラム・メニューの拡大・充実
- 関係団体や旅行事業者と連携した旅行商品の造成

いわむろや足湯



方針3 おもてなし態勢の充実

- 新潟駅や新潟空港などから岩室温泉・弥彦温泉を結ぶ乗合タクシーの運行と観光スポットが点在している区内及び隣接している弥彦村を結ぶ「にしかん観光周遊バス」など、受入れ態勢を整備し、観光客が訪れやすい観光地として誘客を促進します。

施策の方向性

- 関係団体や地域と一体となった観光客受入れ態勢の整備
- 新潟駅や新潟空港などの拠点からのアクセスの充実
- 各観光拠点への交通アクセスの充実

シーサイドラインを走行する「ぐる～んバス」



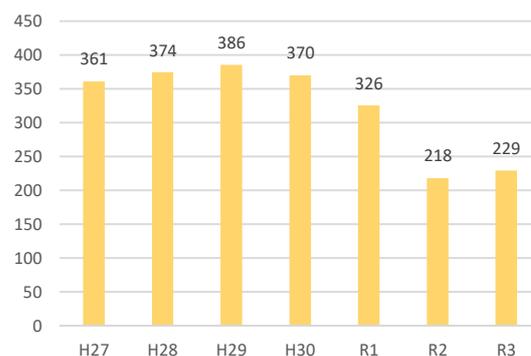
②スポーツ・レクリエーションの普及・推進

－ 現状・課題・特性 －

生涯スポーツとレクリエーション

- 少子化を背景としたチームスポーツを行う機会の減少や、外出の自粛、スポーツ施設の休館をはじめとした新型コロナウイルス感染症による運動を行う機会の減少など、スポーツ・レクリエーション離れが懸念されています。
- 今後は、誰もがスポーツやレクリエーションに親しみ、楽しむことができる環境づくりを進めていく必要があります。

西蒲区内スポーツ関係施設の利用者の推移(千人)



出典:新潟市

－ まちづくりの方針 －

方針1 スポーツ・レクリエーションの普及・推進

- 子どもから高齢者まで、誰もがスポーツやレクリエーションに親しみ楽しむことができるよう、生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動を推進します。
- スポーツを通じた青少年の健全育成と競技力向上を図るため、ジュニア育成・強化に取り組むとともに、指導者の育成や資質向上に取り組めます。

スポーツ・レクリエーション交流会の様子



施策の方向性

- 各種スポーツ・レクリエーション団体の活動支援
- 各種スポーツ・レクリエーション大会の開催及び開催支援
- スポーツ推進委員の活用推進
- 各種競技のジュニア育成・強化



歴史と文化が生き続けるまち

○遺跡や北国街道など、数多く残る歴史文化資源の保全と語り部を育成しながら、いにしえからこの地に連綿と続く人々の営みと歩みを伝え続けます。

○文化施設を拠点として、地域の文化活動やまつり開催を支援しながら、古くから伝わる郷土玩具の「鯛車」や「のぞきからくり」、「越後にしかわ傘ぼこ」など西蒲区の誇る文化を内外に積極的に発信するとともに、次代に継承するための人材育成に取り組み、後世まで伝え続けます。

①歴史・文化資源の保全と活用

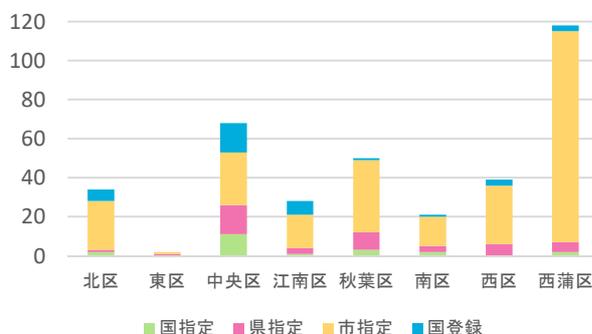
— 現状・課題・特性 —

西蒲区の歴史・文化資源

○西蒲区には、三根山藩址などの旧跡や多様な文化伝播の役割を担った北国街道、菖蒲塚(あやめづか)古墳など、先人が遺した貴重な歴史・文化資源が数多くあります。

○これらの遺産を後世に引き継いでいくため、歴史文化資源の保全と活用を推進していく必要があります。

文化財件数



出典:新潟市(令和3年)

北国街道「稲島宿」



菖蒲塚古墳



方針1 歴史・文化の保全と活用推進

- 西蒲区に数多く残る歴史的な文化資源について、適切な保全や整備に努めるとともに、その魅力を県内外に発信し、地域への誇りや愛着づくりにつながる取組を推進します。
- 担い手となる人材を育成するとともに、活用の場づくりにも取り組みます。

施策の方向性

- 歴史文化資源の保全・整備
- イベントなどにおける歴史文化資源の活用
- 地域学の推進
- まちあるきガイドや語り部など、担い手の育成
- 担い手が活用される場、仕組みづくりの推進

まちあるきの様子



②次世代への継承に向けた文化活動支援

－ 現状・課題・特性 －

地域文化活動と次世代への継承

- 西蒲区では、各地域で育まれてきた伝統芸能やまつりなど、地域固有の多様な文化が現代に受け継がれ、地域住民によって守り伝えられています。
- これらを積極的に県内外へ情報発信するとともに、貴重な伝統文化を次世代に継承していくため、活動を支援していく必要があります。

まき夏まつり「やかた竿燈」



和納十五夜まつり「草花火」



西川まつり「越後にしかわ傘ぼこ行列」



中之口まつり



潟東どろんこカップ「どろんこフラッグ」



方針1 地域のまつり・文化活動への支援

- 各地域で行われるまつりなどの開催を支援するとともに、情報発信に努め、地域活性化と次世代への継承を図ります。
- 地域コミュニティ協議会や文化協会など、各団体による歴史・文化活動を支援し、活動の活性化と次世代への継承を図ります。

郷土玩具「鯛車」



施策の方向性

- 歴史・文化資源の保存団体などの活動支援
- 各種文化イベントの開催支援
- 地域文化活動を通して、世代間交流や地域住民のきずなづくりを推進
- 各地域が行う特色あるまつりの開催支援及び地域間連携強化

目指す区のすがた(4)



人が行き交い、にぎわいと活力があふれるまち

○地域の実情に合った公共交通体系を深化させ、誰もが移動しやすく安全な交通環境を整えることで地域の交流促進を図り、人が行き交う賑わいのあるまちを目指します。

○高速交通アクセスに恵まれた立地条件を活かした製造・物流業の活性化や、商工業のさらなる振興により雇用創出を図ることで、活力あふれるまちを目指します。

○交流人口の拡大や関係人口づくりを進め、地域内外の行き来を活性化させるとともに、定住人口の確保を図ることで、持続可能なまちづくりを目指します。

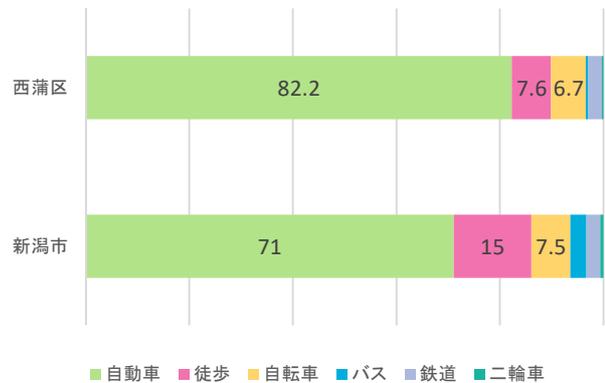
①西蒲区の実情に合った交通環境の整備

— 現状・課題・特性 —

公共交通の利便性向上

- 西蒲区は、広い面積に集落が点在していることから、バス利用が困難な空白地域が存在しています。
- 区内の路線バスは、区バスを含めて8路線が運行されていますが、人口減少や自動車への依存度が高いことから、路線バスの利用者は年々減少しています。
- 少子高齢化が進行するなか、公共交通の重要度は増してきており、子どもから高齢者まで、安心して快適に移動できるような交通環境を維持していく必要があります。

代表交通手段構成(%)

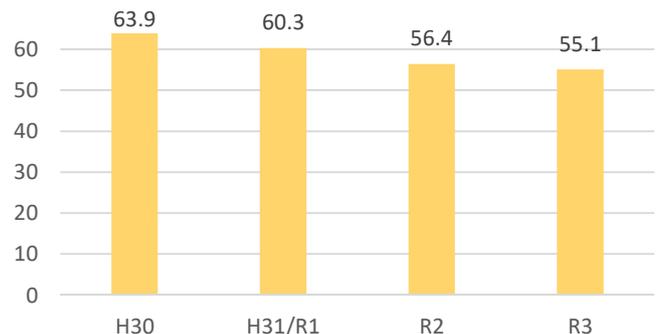


出典:新潟市内都市交通特性調査(平成28年:新潟市)

区バス



区バス1日あたりの利用者数(人)



出典:新潟市

道路整備

- 西蒲区は、8区の中で最も長い道路延長を管理しています。
- 道路施設は、高度成長期の頃に整備されたものが多く、維持管理、更新費用の増加が課題となっています。
- 交通の円滑化や、災害発生時の緊急輸送路として西蒲区を含む地域拠点間の連携強化と安心安全の確保を目指し、幹線道路の整備が必要となっています。
- 近年、全国的に自然災害が頻発化、激甚化しており、安心・安全に通行できるように、道路ネットワークの確保が求められています。

シーサイドライン



交通結節点

- 西蒲区では、JR越後線の巻駅・越後曾根駅・岩室駅と、北陸自動車道の巻潟東インターチェンジが重要な交通結節点になっています。
- JR各駅は、駅舎の老朽化が進行しており、高齢者や障がい者などが快適に利用できるように、バリアフリー化などの対応が求められています。また、路線バスとの接続機能の向上や、パークアンドライドなど、利便性の向上が求められています。
- 巻潟東インターチェンジは、高速交通網の拠点として利用されており、インターチェンジ周辺に整備された大規模駐車場やバス停留所は、高速バスへのパークアンドライドや路線バスからの乗り継ぎなどに活用されています。

JR巻駅



巻潟東インターチェンジ駐車場



方針1 公共交通の利便性向上

- 超高齢社会に対応し、子どもから高齢者まで安心して快適に移動できるように、公共交通の利便性向上を図り、利用を促進します。
- JR各駅や巻潟東インターチェンジなどの交通結節点の機能を高め、マイカーを含めた各種交通の乗り継ぎ利用を促進します。

施策の方向性

- 既存の公共交通体系の改善による利便性向上と利用促進
- JR各駅、インターチェンジなど交通結節点の機能向上
- 交通事業者や地域などと地域公共交通について協議

西蒲区公共交通まるごとガイド



方針2 人にやさしい道路整備

- 区外へつながる幹線道路の整備を進めるとともに、既存道路施設の維持管理や更新に努め、車だけでなく歩行者や自転車にも利用しやすい道路環境整備を図ります。
- 交通結節点の機能強化に取り組みます。

施策の方向性

- 幹線、生活道路の適正な整備・維持管理
- 通学路を中心とした交差点や危険箇所などの交通安全対策の推進
- 自転車の利用環境整備と交通マナー啓発
- 巻駅周辺整備事業の推進

通学路に設置されたグリーンベルト



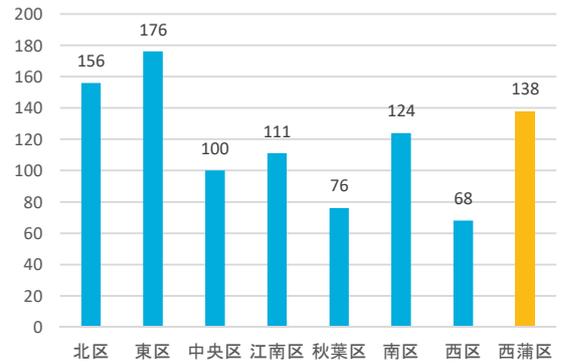
②商工業の振興

－ 現状・課題・特性 －

製造業

- 区内には多くの工業団地があり、金属製品や機械類などの製造業者が集積しています。
- 今後のビジネス環境の変化に対応したデジタル化などによる生産性向上の取組が求められています。

事業所数(所)



出典:工業統計調査(令和2年:経済産業省)

商店街

- 郊外型大規模店進出の影響や後継者不足により、空き店舗が増加し、商店街の活力が低下しています。
- 空き店舗の活用や、創業者への支援、商店街などへの新規参入に対する支援を行うとともに、個々の商店の特徴を活かし、郊外型大規模店にはない魅力ある商店街の継続的発展を目指す取組が必要です。

巻商店街



方針1 製造業などの活性化

- 区内の製造業者などが行う事業のデジタル化・高度化や生産性向上に向けた取組を支援し、製造業などの活性化を図ります。

上空から見た漆山の街並みと漆山企業団地



施策の方向性

- 設備投資などの支援
- 各種融資制度の相談

方針2 商店街の活性化

- 創業者などによる空き店舗の有効活用を支援するとともに、商店街等が実施する商店街活性化の取組を支援し、郊外型大規模店にはない個々の商店の特徴を活かした魅力ある商店街の継続的な発展を図ります。

商店街活性化の取組



施策の方向性

- 空き店舗の有効活用や、商店街活性化の取組への支援
- 商工会等関係団体との連携による経営支援

③西蒲区の特徴を活かした移住・交流などの促進

－ 現状・課題・特性 －

交流人口・関係人口の創出や移住の取組

- 西蒲区は、角田山、上堰瀧公園、海水浴場などの自然環境や観光資源、豊かな食文化、岩室温泉など交流人口・関係人口拡大のための資源を数多く有しています。
- 今後は、新型コロナウイルス感染症の拡大により減少した交流人口・関係人口を回復させる必要があります。
- 少子高齢化の進展に伴い、西蒲区の人口減少率は、8区の中で最も高くなっています。
- 人口流出を抑制し、人口流入を促進するために、地域と一体となって、移住や雇用創出につながる事業に取り組む必要があります。

－ まちづくりの方針 －

方針1 移住・交流などの促進

- 西蒲区の自然豊かな観光資源を活かし、交流人口・関係人口の拡大を図ります。
- ワーケーションの実施やサテライトオフィス誘致など移住・雇用創出の促進につながる事業を展開します。
- 地域と連携して、自然豊かな西蒲区での暮らしを発信するとともに、受入れ態勢の整備を図ります。

移住者の多い角田地区のイベント「浜メグリ」



施策の方向性

- 官民・地域と連携した魅力発信
- 交流人口・関係人口拡大に向けたワーケーションなどの推進
- 首都圏などで開催される移住セミナーへの参加
- 移住を促進するための受入れ態勢整備

目指す区のすがた(5)



人の和でつながる安心・安全なあたたかいまち

- 地域ぐるみで支え合う人の和を育み、誰もが笑顔で暮らし続けられるように、安心・安全で快適な生活基盤をつくり、あたたかみあふれるまちを目指します。
- 地域の誰もが次代を担う子どもたちの成長を支え、学び合いを通じて人と人とのつながりが生まれ、広がるまちを目指します。
- 健康づくりに対する意識啓発により健康寿命の延伸を図るとともに、子どもから高齢者、障がい者まで、誰もが地域の中でいきいきと暮らすことのできるまちを目指します。
- 地域課題の解決に向け、区自治協議会や地域コミュニティ協議会、自治会など、住民自治を担うあらゆる主体が連携を深め、一人一人に寄り添う、区民が主役のまちを目指します。

①安心・安全で快適な生活基盤づくり

－ 現状・課題・特性 －

防災対策

- 西蒲区は、山や海を有し豊かな自然環境に恵まれている半面、土砂災害や地震による津波被害など、様々な自然災害が想定されるため十分な備えが必要です。
- これまで、避難所への備蓄品の配備や学校における防災教育などを実施してきました。
- 引き続き災害対策に取り組むとともに、防災意識を高めていく必要があります。

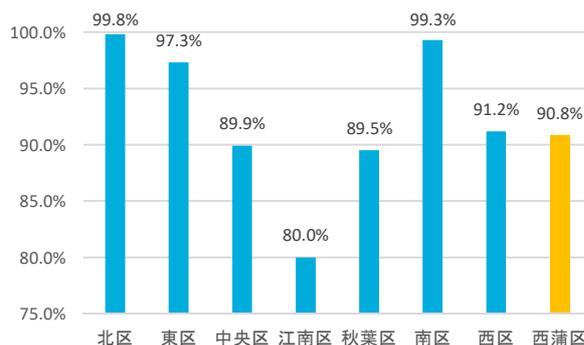
防犯対策

- 近年、還付金詐欺などの特殊詐欺が増加しており、高齢者が多い西蒲区においても発生しています。
- 地域ぐるみでの防犯意識の向上を図っていくとともに、犯罪が起きにくい環境の整備や、地域での見守りを強化していく必要があります。

防災組織体制

- 災害発生時には、地域住民の相互協力による防災・減災活動が大変重要です。
- 一人暮らしや寝たきりの高齢者など、支援が必要な方について、地域で共に助け合う体制を確立するための支援をしていく必要があります。

自主防災組織結成率



出典:新潟市(令和3年)

交通安全対策

- 全事故に占める高齢者事故の割合が高い傾向にあることから、高齢ドライバーへの交通安全対策を関係機関と連携して実施するなど、交通事故を未然に防止する取組が重要です。

ごみ対策

- 西蒲区の1人1日あたりのごみ量は全区のなかで最多となっており、3R(リデュース・リユース・リサイクル)の優先順位に従い、廃棄物の減量を進める必要があります。
- 適切な広報を通じて更なるごみ減量と持続可能な循環型社会の実現に向けた取組を推進していく必要があります。

生活排水・污水处理

- 西蒲区では、下水道や合併処理浄化槽など污水处理施設の普及率が低く、河川などへの影響が懸念されます。
- 衛生的で良好な生活環境の確保と水環境の保全を図るため、地域の実情に応じた、下水道と合併処理浄化槽の役割分担による污水处理施設の整備を推進する必要があります。

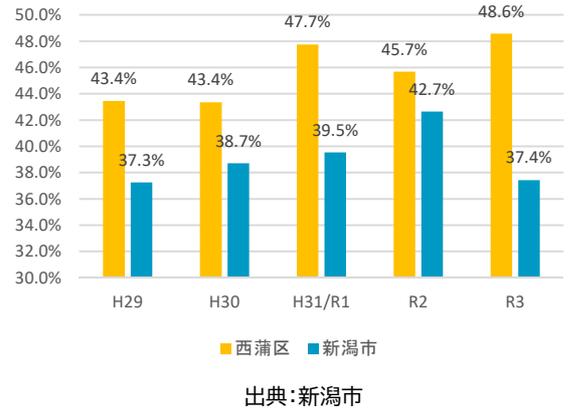
環境保全・環境学習

- 次世代を担う子どもたちが西蒲区の豊かな自然環境を誇りに思い、その恵みを大切に思う心を育むために、学校・家庭・地域社会が連携して「未来を創る力」と「環境に配慮できる行動」を導く環境学習が重要です。
- 引き続き西蒲区の自然環境を保全していくため、時代に応じた啓発事業を進めていく必要があります。

空き家対策

- 人口減少の進行などに伴い、今後も空き家の増加が見込まれます。
- 管理が適切に行われておらず、周辺に悪影響を与える空き家についての対応や、活用できる空き家の対応など、関係者・関係機関との協力体制づくりが必要です。

全事故に占める高齢者事故の割合

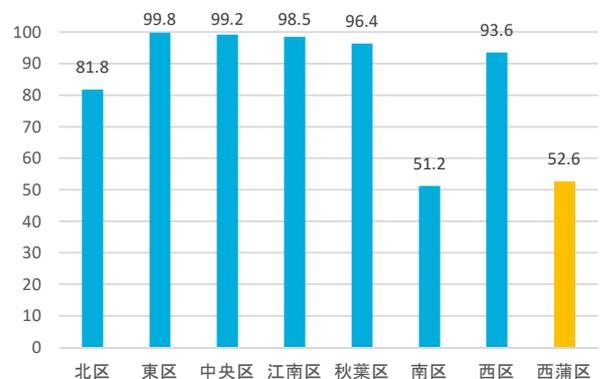


各区における1人1日あたりのごみ量(g)



出典:令和3年度家庭系ごみ・資源の排出量区別内訳(令和3年:新潟市)

污水处理人口普及率(%)



出典:污水处理人口普及率(令和3年:新潟市)

方針1 災害対策の強化

- 土砂災害や地震による津波被害など、様々な自然災害に備えるため、危険箇所の点検や避難所運営体制の推進に取り組みます。
- 災害発生時には、地域住民の相互協力による自助・共助が必要となるため、防災意識の普及啓発や自主防災組織の活動支援に取り組みます。

自主防災訓練の様子



施策の方向性

- 危険箇所の把握と住民への周知
- 避難所運営体制の推進
- 防災教育などによる防災意識の普及啓発
- 防災士の育成支援
- 自主防災組織の結成促進と活動支援
- 名簿整備などによる避難行動要支援者の把握と避難支援関係者への情報提供
- 要支援者個別避難計画作成の推進

方針2 防犯・交通安全対策

- 高齢者を中心とした防犯意識や交通安全意識を向上させるため、情報提供に努めるとともに啓発活動を推進します。
- 地域住民による防犯・交通安全の推進に向けたボランティア活動を支援します。

施策の方向性

- 防犯・交通安全運動などによる意識啓発
- 地域企業などによる「ながらパトロール」の推進
- 地域の防犯活動、交通安全活動の支援
- 地域による防犯灯設置などへの支援

高齢者向けサポカー体験



方針3 暮らしやすい環境整備

- 暮らしやすい環境整備のために快適な生活基盤づくりを進めます。
- 資源循環型社会の実現に向けたごみの減量化とリサイクルの推進、地域の実情に応じた下水道と合併処理浄化槽の役割分担による污水处理施設の整備を推進します。
- 子どもの頃から環境に配慮できる行動を導くため、環境学習を推進します。
- 年々増加している空き家の利活用などに取り組みます。

施策の方向性

- ごみ問題に対する市民意識啓発
- 3R(リデュース・リユース・リサイクル)活動の推進
- 下水道や合併処理浄化槽など污水处理施設の整備推進
- 環境学習の推進
- 周辺に悪影響を与える空き家について、地域と情報共有

角田浜海水浴場での一斉清掃の様子



河川美化啓発ポスターコンクール入賞作品(令和3年度)



②支え合い学び合う人の和づくり

－ 現状・課題・特性 －

子育て環境

- 核家族化や共働き家庭、ひとり親家庭の増加などにより、子育てにかかる負担の増加や地域の繋がり希薄化が懸念されるなか、子育てと仕事の両立に向けた取組など、子育て家庭への支援が求められています。
- 子育てをしている親の孤立や育児不安を解消するため、各種相談や情報提供などの支援体制の強化が必要です。

西蒲区「妊娠・子育てほっとステーション」



子どもの居場所整備

- 核家族化と共働き家庭の増加により、子どもが下校後に家で一人きりになる問題が生じており、放課後児童クラブなどのニーズが拡大しています。
- 遊びや学習を通した子どもたちの健やかな成長や、安心して過ごせる子どもの居場所づくりが求められています。

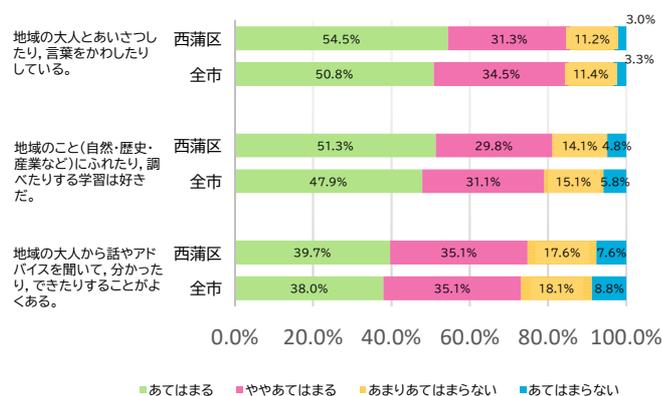
岩室地域児童館



「地域ぐるみの学び合い」の充実

- 「学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくり」を推進し、地域の力を活かした教育活動を行ってきたことで、子どもたちの学びが充実し、地域への愛着も育まれてきました。
- 今後は、次代を担う子どもたちの成長を支えるために、これまでに築いてきた土台の上に、地域と学校の関係の深化を進めることが重要です。
- 一方で、少子化により学校と直接的な関わりを持たない世帯が増え、地域住民に学校に対する関心やつながりの希薄化が懸念されます。

児童生徒の意識調査



出典：「新潟市生活・学習意識調査」
小学校児童・中学校生徒の回答の合計
(令和3年：新潟市)

生涯学習

- 生涯学習に対するニーズが多様化しており、さまざまな課題に対応した学習情報や学習機会の提供が求められています。
- 学びの環境を向上させるため、公民館や図書館などの機能充実を図っていく必要があります。
- 区民の学習成果を人づくりや地域づくりに活かし、地域の支え合いや活性化につなげていく必要があります。

大人カレッジ



方針1 子育てを応援し合える環境づくり

- 子育て家庭を支援するとともに、子どもの健やかな成長につなげるため、放課後児童クラブなどの子どもの居場所づくりを推進していきます。
- 保育園の乳児受け入れや延長保育、休日保育の実施、子育てに関する各種相談ができる子育て支援センターの運営など、総合的に子育てを支援していきます。

施策の方向性

- 子どもの居場所づくりなど、放課後児童の健全育成の推進
- 保育サービスの拡充
- 子育てに関する相談体制の充実、事業の実施

子育て支援講座「親子の絆づくりプログラム」



方針2 地域との連携による開かれた学校教育の推進

- 地域・保護者・学校が、育てたい子ども像や教育の理念・方向性を共有し、目標の実現に向けた協働を進められるように、「地域とともにある学校」づくりを支援します。
- 子どもたちが地域への誇りや愛着をもち、地域課題への理解を深めることで、将来的な人口流出の抑制や人材のUターンにつながるように、地域と学校の連携を一層推進します。

施策の方向性

- 地域・保護者・学校が共に教育を考える参画型システムの深化
- 自分の力に自信をもち、地域を誇れる子どもの育成

地域の大人に米づくりを学ぶ様子



方針3 生涯学習の推進

- 区民の多様な生涯学習活動を促進するため、公民館や図書館の事業充実を図ります。
- 区民の学習成果を人づくりや地域づくりに活かし、さらなる活動の活性化につなげるため、公民館が中心となって各団体の連携を図り、活動を支援します。

施策の方向性

- 各種生涯学習活動の推進
- 家庭教育、高齢者学級など、各種生涯学習講座の開催
- 地域コミュニティ活動の支援

長寿大学の様子



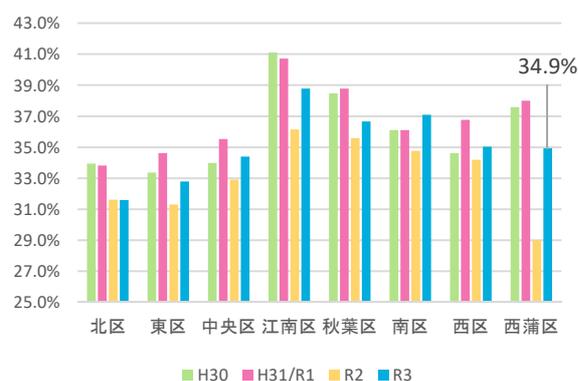
③健康づくりと地域の支え合い

－ 現状・課題・特性 －

生活習慣病予防と健康増進活動

- 西蒲区は、脳血管疾患が原因で亡くなる人の割合が、全国平均の約1.35倍であり、市内8区中最も高いという健康課題があります。
- 脳血管疾患は、介護が必要となる主な原因の一つでもあり、健康寿命延伸のためには、脳血管疾患をはじめとする生活習慣病の予防・早期発見と健(検)診の受診率向上など、区民一人一人が主体的に健康づくりに取り組む必要があります。
- 子どもから高齢者まで区民一人一人の健康増進を推進するとともに、地域全体で健康づくりに取り組むことが求められています。

特定健診受診率

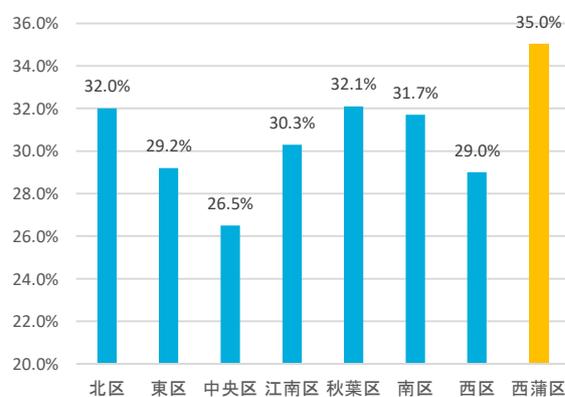


出典：特定健診実施状況(新潟市)

高齢者支援

- 西蒲区における高齢化率は、35.0%(令和2年国勢調査)と市内で最も高く、3人に1人以上が高齢者となっています。高齢者が健康で生きがいをもって社会参加できるよう、より充実した施策の展開が求められています。

高齢化率



出典：国勢調査(令和2年：総務省)

自分らしく安心して暮らせる 健康長寿社会の実現

- 高齢者が住み慣れた地域で、人や社会とつながり、健康で生きがいを持ち、いつまでもいきいきとした生活ができるよう、支え合いによる生活支援や疾病・介護予防を推進し、自分らしく安心して暮らせる地域をつくっていくことが必要です。

障がい者支援

- 障がいの有無に関わらず、相互に人格と個性を尊重しながら安心して暮らすことのできる共生社会の実現には、障がいへの理解や交流を深める取組が必要です。
- 障がい児・者が地域で社会参加しながら安心して自立した生活を送れるよう、適切なサービス提供や相談体制の充実に努める必要があります。

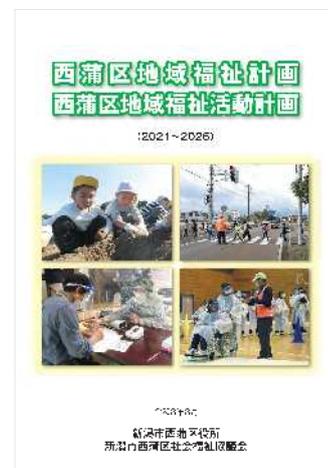
防災体験学習での車イス体験の様子



地域福祉

- 高齢者や障がい者などが地域で孤立することのないよう、顔の見える関係づくり・支え合う地域づくりが求められています。
- 自主的・自発的な福祉活動を推進するためには、地域のきずなが重要であり、地域のリーダーや助言を行うコーディネーターなどの育成も重要です。

西蒲区地域福祉計画・西蒲区地域福祉活動計画



方針1 健康寿命の延伸

- 身体面の健康をはじめ、人々が生きがいを感じ、安心して心豊かな生活を送れるまちづくりを進めるため、西蒲区の自然や観光資源などを活かした健康増進プログラムを推進します。
- 超高齢社会を迎え、できるだけ介護を必要とせず日常生活を送ることのできる「健康寿命」の延伸が重要なことから、西蒲区の健康課題に焦点をあてた施策を推進するとともに、各年代への意識啓発を行います。

施策の方向性

- 自然環境を活用した健康増進プログラムの推進
- 区民の自発的な健康増進活動を支援
- 特定健診、がん検診など各種健(検)診受診の啓発
- 健康課題である脳血管疾患の予防についての啓発
- 食生活改善推進委員や運動普及推進委員の地域活動などによる意識啓発
- 保育施設、学校、地域コミュニティ協議会など地域団体と連携した健康相談、健康教育の推進

健康づくり教室の様子



にしかんウォーキング手帳



方針2 高齢者や障がい者の社会参加の推進

- 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、民生委員・児童委員、自治会、自主防災組織などとの連携を強化し、高齢者や障がい者などを地域全体で支える地域共生社会を推進し、在宅での生活や社会参加を支援します。

施策の方向性

- 地域包括ケアシステム(高齢者を支えるネットワーク)の深化
- 地域包括支援センターによる総合的な高齢者支援の実施
- 重層的支援体制の構築
- 介護予防の推進
- 高齢者及び障がい者のための各種福祉サービスの提供

地域の茶の間の様子



④あなたもその一人。協働のまちづくり

－ 現状・課題・特性 －

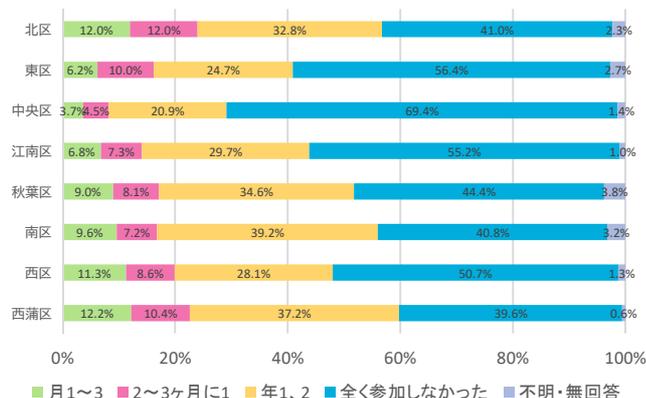
持続可能な地域づくり

- 人口減少や高齢化などにより、地域活動への参加者減少や区民間のつながりの希薄化などがみられ、地域の共助・互助機能の低下が懸念されています。
- 一方、区民ニーズは年々多様化・複雑化しており、地域と協働して課題解決に取り組むことが求められています。
- こうしたことから、地域の課題解決に向け、地域自らが考え実行できる地域力を向上させるとともに、地域と行政の協働をさらに深め、持続可能な地域づくりを推進する必要があります。

西蒲区自治協議会

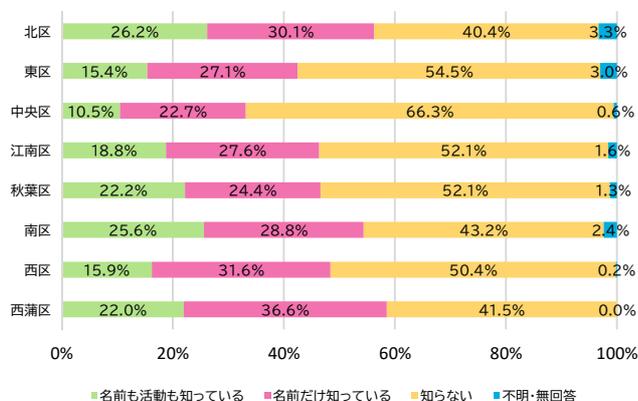
- 区自治協議会は、区民と行政の「協働の要」として、地域課題の解決に向け、地域の多様な意見の調整・取りまとめや、委員提案による事業を実施してきました。
- 今後は、地域コミュニティ協議会などの地域団体との連携強化が望まれるとともに、将来の担い手育成に向け、区自治協議会の取組を区民に広く周知するなど、活動の深化が必要です。

地域活動への参加状況



出典：第47回 市政世論調査(令和2年：新潟市)

区自治協議会の認知度



出典：第47回 市政世論調査(令和2年：新潟市)

地域コミュニティ協議会

- 西蒲区には、9つの地域コミュニティ協議会があり、区民による主体的なまちづくりを推進するため、地域の核として地域課題の解決に向けた活動に取り組んでいます。
- 一方で、役員の高齢化や活動の担い手不足が大きな課題となっています。
- 今後は、地域コミュニティ活動の更なる活性化のために、自主・自立性を尊重した活動支援や地域人材の育成支援が重要です。

窓口サービスの向上

- 多くの人が利用する区役所として、親切・丁寧な対応を徹底することや、窓口の利便性を高めることで、市民満足度の向上を図る必要があります。
- 今後とも、多様な区民ニーズに対応するためにも、職員一人一人の能力が十分に発揮できるよう人材育成に取り組む必要があります。

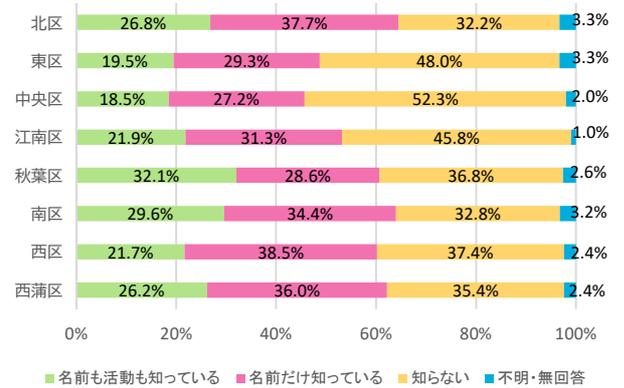
区民意見の反映・区政情報の発信

- 区民との協働を推進するため、一人一人の人権が尊重され、その声に耳を傾けることができるよう、区民との意見交換や区民意見を集める取組を進めていく必要があります。
- 区政情報や区内イベントの周知のために、多様な広報媒体を活用した情報発信を行う必要があります。

西蒲区役所庁舎

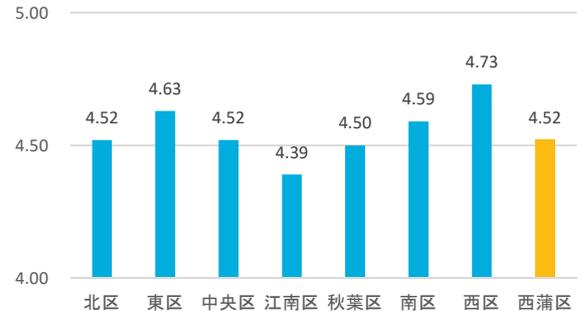
- 昭和36(1961)年に建築された西蒲区役所の庁舎は築後60年を経過しています。
- 安心・安全な暮らしを支える行政の拠点施設として、十分な機能を確保していく必要があります。

コミュニティ協議会の認知度



出典:第47回 市政世論調査(令和2年:新潟市)

窓口アンケート全体平均点



出典:令和元年度第1回窓口アンケート結果(令和元年:新潟市)

区長と語る「まちづくり懇談会」



方針1 地域活動の活性化と協働の推進

- 協働の要である区自治協議会及び各地域コミュニティ協議会をはじめ、自治会・町内会など、地域活動に取り組む団体の活動を活性化させるとともに、団体同士や行政との連携を深め、協働によるまちづくりを推進します。

施策の方向性

- 区自治協議会における活動の活性化
- 地域コミュニティ協議会、自治会・町内会などの活動支援
- 各地域コミュニティ協議会の連携の推進と情報交換の場づくり

区自治協議会でのワークショップの様子



方針2 地域人材の育成支援

- 持続可能な地域となるために、区民自らが課題を探り解決への手順を学ぶ場の提供や、多世代への地域活動の啓発など、地域人材育成を支援することで、区民が主役となるまちづくりの推進を図ります。

施策の方向性

- 区自治協議会、地域コミュニティ協議会に対する研修の充実
- まちづくりに関する各種講座の開催
- 地域活動の先進事例に関する情報の蓄積と情報発信

コミュニティ協議会を対象とした研修会の様子



方針3 地域のための区役所づくり

- 区民に寄り添った行政サービスを提供するため、親切・丁寧な窓口・電話対応を徹底するとともに、手続のオンライン化などによる利便性向上を図ります。
- 性別、年齢、障がいの有無、国籍、出身、性的指向、性自認、価値観などにかかわらず、あらゆる人の人権が尊重されるように、啓発に努めます。
- 区民一人一人の声を大切にするとともに、より多くの区民に情報を届けるため、多様な広報媒体による情報発信を行います。
- 防災の拠点機能を高めるため、庁舎の建替に向けた具体的な検討を進めます。

区だより「にしかん」



施策の方向性

- 「共感・信頼・協働」の西蒲区サービス憲章に基づく区役所運営
- 男女共同参画・人権啓発の推進
- 区長との懇談会などをはじめとした多様な方法による区民意見の把握
- 区役所だより、区ホームページ、各種SNS、コミュニティFMや地域防災無線など、多様な広報媒体による積極的な区政情報発信

西蒲区役所庁舎



巻末資料(用語集)

用語	解説
汚水処理人口普及率	各自治体の総人口に対する下水道及び集落排水施設を利用できる区域内の定住人口と、合併処理浄化槽の利用人口の合計値の割合
ガストロノミーツーリズム	その土地の気候風土が生んだ食材・習慣・伝統・歴史などによって育まれた食を楽しみ、その土地の食文化に触れることを目的としたツーリズムのこと。
関係人口	移住した「定住人口」、観光に来た「交流人口」とは異なり、地域内にルーツのある者や、過去の勤務や滞在等の何らかの関わりがある者など地域と多様に関わる人々のこと。
学・社・民	「学」は学校、「社」は公民館や図書館などの社会教育施設、「民」は地域住民、家庭、地域の団体や企業のこと。
合併処理浄化槽	家庭や事務所などのトイレのみならず、台所などの全ての汚水を処理する浄化施設のこと。
共生社会	誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会のこと。
区自治協議会	区民等と市をつなぐ「協働の要」として、区民に身近なまちづくりや地域課題を解決するため、平成19(2007)年度に各区に設置された市長の附属機関のこと。
交通結節点	バスのほか、電車やタクシー、自動車、自転車など様々な交通手段の接続が行われる乗り換え拠点のこと。
交流人口	地域を訪れる人のこと。定住人口に対する概念。
国家戦略特区	特定の地域や分野を限定して規制緩和や税制上の優遇措置を行うことで、企業の投資や人材を呼び込み、地域経済の活性化を目指すために国が指定する区域のこと。
キラークンテンツ	特定の分野を普及させるきっかけとなるような、圧倒的な魅力を持った情報やサービス、製品ののこと。
食と花の銘産品	新潟市が指定する、自信を持って全国に誇る自慢の農畜水産物のこと。
重層的支援	複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援のこと。
地域包括ケアシステム	「介護」「医療」という専門的なサービスと健康寿命延伸を目指す「介護予防」、その前提としての「住まい」と「生活支援」が一体的に提供されることで、可能な限り住み慣れた地域で在宅の生活ができるようにする地域の包括的な支援・サービス提供体制のこと。
地域コミュニティ協議会	市民と市が協働して地域のまちづくりや、その他の諸課題に取り組み、市民自治の推進を図るため、おおむね小学校区を基本単位として、自治会・町内会を中心に様々な団体等で構成された組織のこと。
マルシェ	フランス語で「市場」を表す。
6次産業化	農林漁業者(1次産業従事者)が原材料供給者としてだけでなく、「地域資源」(農林水産物、バイオマス、自然エネルギーなど)を有効活用し、加工(2次産業)、流通(3次産業)に取り組み経営の多角化を進め、農山漁村の雇用確保や所得の向上を目指すこと。
ワーケーション	Work(仕事)とVacation(休暇)を組み合わせた造語。テレワークなどを活用し、普段の職場や自宅とは異なる場所で仕事をしつつ、自分の時間を過ごすこと。余暇主体と仕事主体の2つのパターンがある。

